

専用フォームから
応募できます！



第12回の締切は
令和6年
7月31日
(水曜日)必着

第12回 かながわ感動介護大賞 ～ありがとうを届けたい～

感動介護エピソード募集

介護の現場では、介護職員の方々が、高齢者の方々の持っている能力や思いを生かしつつ心豊かな生活を送れるよう、献身的なサポートが日々行われています。

「かながわ感動介護大賞」は、介護サービスを受ける中で小さな感動、例えば嬉しかったこと、心に響いたことなどのエピソードに光をあてることで、介護の素晴らしさを多くの人に伝え、介護の魅力を発信することを目的にしています。

介護サービスの利用者、ご家族、介護保険施設・事業所等の皆さま、“あなたが受けた” “あなたの身近にある” “職員の方に感謝の気持ちを伝えたい” 介護のエピソードをご応募いただけませんか。

賞について

感動介護大賞 **最優秀賞** 1 作品 **優秀賞** 5 作品程度

- ・ 応募者と、作品に登場する介護を提供した個人・事業所等の両方を表彰（令和6年11月予定）
- ・ 入賞者に表彰状・楯・副賞を贈呈、応募者全員に参加賞を贈呈
- ・ 選考結果は応募者全員にお知らせ（令和6年度末予定）



介護職員の方への
感謝の気持ち。
心に響いたこと。
介護現場での感動の場面。
あなたのエピソードを
お待ちしております。



***** 募集要項 *****

募集案内

- 神奈川県内にある介護保険施設・事業所等（以下「事業所等」という）の介護職員から受けた介護サービスの中で、嬉しかったことや、心に響きありがたさを伝えたいと思ったエピソード、介護サービス等につながる感動的なエピソード（嬉しかったこと、心に響いたことなど）を、おおむね 600 字以内（短文・詩等でも可）
- 作品は、未発表であり日本語で書かれたもの、実際の出来事に基づいたものに限り、
- エピソードの対象となった介護従事者が、応募時点で当該施設において介護サービス等に従事しているもの
- 特定の事業所等の広報を目的としないもの

応募資格

- ① 神奈川県内にある事業所等から介護サービス（地域の支え合い活動も含む）を受けている方とその家族の方
 - ② 神奈川県内にある事業所等で介護サービス（地域の支え合い活動も含む）を行っている職員の方
 - ③ その他、神奈川県内にある事業所等の介護サービス（地域の支え合い活動も含む）による、介護につながる感動の場面を直接見聞きした方
- ※ ①以外の方が応募し、選考過程で受賞候補となった場合には、介護を受けた本人又は家族に、別途、公表する旨の承諾を得ていただきます。
ただし、介護を受けた本人が死亡しており、家族の所在も分からない場合は不要です。

募集締切

- 令和6年7月31日（水）とします。なお、締切日以降の応募は、翌年度の選考対象となりますので、御了承ください。

応募方法

○ 次のいずれかの方法でお送りください。

① ホームページ専用フォームからの応募

【専用フォーム】（かながわ感動介護大賞ホームページ）

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f420254/index.html>

QRコードで応募ページに
直接アクセスできます



② 次ページの応募用紙に必要事項を記載して郵送

【応募先】

〒231-8588 横浜市中区日本大通 1

神奈川県高齢福祉課「かながわ感動介護大賞」事務局あて

その他

- 応募作品の編集・著作権を含む著作権のすべては、神奈川県に帰属し、応募作品は返却しません。
- 応募作品は、神奈川県個人情報保護条例に基づき慎重に取り扱い、「かながわ感動介護大賞」の募集、表彰、その他関連する事務にのみ使用します。
- 応募者及び、サービスを提供した事業所等の職員の氏名については、県のホームページ・作品集等への掲載は、応募者並びに当該施設・事業所職員に確認をとった上で行います。
- 応募作品は、県の高齢者福祉行政に関する事業に使用することがあり、応募者は応募の時点で作品を公表することに同意したものとみなします。
- 受賞候補作品のエピソードの対象となった事業所が、選考時に廃止されている場合は、事業所の表彰は行いません。
- 応募者が複数の作品に応募した場合は、選考過程において最上位となった1作品のみを受賞又は佳作の対象とします。

かながわ感動介護大賞 感動介護エピソード応募用紙

タイトル(題名)	ふりがな 氏 名		年齢	
住 所	〒	電話番号	職業	
エピソードにある 施設・事業所名		事業所等の 所在地	介護職員名 (又はグループ)	

※マス目は縦書き・横書きどちらでもご利用ください。(マス目にこだわらずにご記入いただいても結構です。)

★この応募用紙をどちらで入手されましたか。(該当のものに☑をしてください。)
介護保険施設・事業所 市町村の窓口 県機関 県ホームページ その他 ()

これまでの受賞作品や受賞作品を基に作成した ドキュメンタリー番組、作品集をご覧ください！

第11回 最優秀賞 受賞作品のご紹介

彼女の最初の患者は私だった。脳出血で倒れ、右半身麻痺^{まひ}となった母の、動かない右手をミーちゃん、左手をヒーちゃんと呼び、笑顔で励まし続けた。だから私も笑った。

でも、娘が介護職を選んだ時、正直複雑な気持ちだった。「お母さん、今日はね入浴^{はいせつ}と排泄^{はいせつ}を教えてもらったよ」「頑張っていて偉いね」電話を切って涙が溢^{あふ}れた。排泄^{はいせつ}という言葉が、耳から離れない。なんでうちの子が、知らない誰かのお尻^{しつ}を拭^{ぬぐ}いているの？と。でもまた元気な報告の電話は来る。認知症のおばあちゃんは、なくした物を探す時、探偵家^{たんてい}みたいで可愛いとか、無表情なおじいちゃんにウィンクを教えた事。「100歳のおばあちゃんが長生き^{ひげつ}の秘訣^{ひけつ}は、なんでもありがたいの心じやよと言っていたよ」等。「今日はね、おばあちゃんが靴下^{くつさ}を右左反対^{みぎひだりさか}にはいてしまい、恥ずかしくて泣いていたら、優しい先輩が、パパッと自分も靴下^{くつさ}を反対^{さか}にはいて、あれ？僕も反対^{さか}だった！アハハって、みんなで笑ったんだー」と。こっちまで笑い声が聞こえる様な、温かい現場。

いつしか、私は楽しい介護の電話を待つようになった。大変な事や辛い事も多いはずなのに、なんでも面白い話にしてしまう。帰ってくるたびに、腕が太くなって、でも貴女は、日に日に輝きを増す。「きっと、私もいつか、誰かにお尻^{しつ}を拭^{ぬぐ}ってもらう時が来るんだよね」貴女は介護の女神。

愛ある介護士達のその誇り高きお仕事を、今、私は心から尊敬している。

作品集

- ◇ 神奈川県ホームページでこれまでの受賞作品等をご覧ください。
- ◇ 作品集(冊子)も作成しています。希望される場合は、お気軽にお電話ください。郵送いたします。



かながわ感動介護大賞
Instagram
公式アカウントのフォローを
お願いします！

ドキュメンタリー番組

- ◇ 「かながわ感動介護大賞表彰式」の様子や受賞エピソードにまつわるインタビュー等を収録したDVDを作成しています。
- ◇ ドキュメンタリー番組動画は神奈川県ホームページでご覧いただけますが、過去のDVDをご覧になりたい方は、貸出等も可能なので、お気軽にお電話ください。



動画ページ QR コード

- ◇ 研修や授業の教材としてもご利用いただけます。また、病院や企業の待合スペースなどで、映像を流していただくことも可能です。

問合せ先

かながわ感動介護大賞事務局

- ◇ 神奈川県高齢福祉課 045-210-1111 (内線: 4837)
〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通 1
- ◇ かながわ感動介護大賞ホームページ
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f417781/index.html>